

お問い合わせメール: nyservice@163.com

目次

本プロジェクターをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。ご使 用になる前に本ユーザーガイドをよくお読みください。本マニュアルは、製 品使用上のガイドとして大切に保管してください。

目	次								 	 	 	 	 	 		-2
製	品								 	 	 	 	 	 		- 3
説	明								 	 	 	 	 	 		-4
プ		ジ	т ?	7 9	· _	Ø	設	置	 	 	 	 	 	 		7
操	作	٤	使	用					 	 	 	 	 	 	:	16
操	作	手	順						 	 	 	 	 	 	. 4	20
仕	様	お	よ	び	技	術			 	 	 	 	 	 	- ;	31

本マニュアルの説明図は分かりやすく描かれており、実際の製品と異なる場 合があります。

梱包内容:

ご使用になる前に梱包内容をご確認ください。損傷あるいは梱包されていな いものがあれば、当社にご連絡ください。

プロジェクター	アダプター	リモコン	オーディオ / ビデオ ケ ーブル	ユーザーマニュ アル
1台	1個	1個	1本	1 🌐

オプショナルのアクセサリー : プロジェクション用スクリーン、プロジェク ターマウント、三脚。 本製品は、高精細マルチメディアLCDプロジェクターです。大画面でのフルカラ ービデオ画像信号処理に優れ、デモや観賞に最適です。特にダンスホール、カラオケ、 ホームシアターやビジネスプレゼンテーションに適しています。

・プロジェクターは、リモコンあるいは本体のボタンを使用してフル機能操作を行うことが可能です。本製品は、マイコンインテリジェント制御、自己制御スイッチによるセルフチェック、誤操作防止機能、雷からの保護、過熱予防、ファン作動の監視回路、明るさ自動調節、鮮明画像のシャープネス調整、台形補正、マニュアル操作、リモコン受信回路など、多種多様な機能を搭載しており、安定性および信頼性が大幅に向上されてます。

5種類の外部入力に対応:HDポート

HDMI 入力 コンポジットビデオ信号入力画像 USB 入力 SD カード用ポート

DVD、VCD、VCR、カメラ、ゲーム機、デジタルカメラとの接続 に対応。

・本シリーズのプロジェクターは、背面投影 / 天井投写機として設置することも可能です。投影画像は16:9と4:3の2種類の表示モードが提供されます。

・本シリーズのプロジェクターは、高効率性の光学画像エンジンシステムです。1ダース以上の反射材料層を採用したプロ用精密光学ビューファインダー、 多数のプロ用投影レンズ、短距離 JIAOKUAN を採用した高精度の光学システム を搭載しています。

説明

警告 - 本プロジェクターを雨の中で使用したり、液体が本体にかからないようにご注意ください。火災や感電の恐れがあります。

本製品は高圧電流が流れて する います。本体は決して分解 せず、修理はプロにご依頼 ください。 本類



製品内の高電圧は大変危険です。接触 すると、電気ショックを起こす恐れが あります。

本製品の使用あるいはメンテナンスお よび修理については、必ず本マニュア ルの説明に準拠してください。

警告 - 本製品はクラスA製品であり、生活環境において電波干渉を引き起こす可能性があります。電波障害が発生した場合は、適宜対処してください。

警告 - 通常の操作状況では、プロジェクターをスタンバイモードにします。その際、必ずプロジェクター本体またはリモコンのボタンを使用してください。電源コードを抜く際は、冷却ファンが完全に停止しているのを確認してください。通常の操作状況では、決して電源コードを抜いて電源を落とさないでください。故障の原因となります。

リモコンの電池について

電池の極方向を逆にして取り付けた場合(プラスとマイナスが逆になった 場合)、電池が過熱し、損傷する恐れがあります。小さなお子様はリモコ ンの電池の取り付けを行わないでください。必ず大人が電池の交換を行っ てください。

説明

▲ 警告

プロジェクターの電源を落とす際は、必ずリモコンあるいは本体の電源ボタ ンをご使用ください。決して電源コードを引き抜いてはいけません。製品の 耐用年数に悪影響を及ぼします。電源コードを抜く際は、プロジェクターの 自己冷却作動が完了するまでお待ちください。

安全性の維持のために、プロジェクターの保全・修理については、必ずプロ にご依頼ください。

本プロジェクターを正しく使用するために、マニュアルをよくお読みくださ い。

プロジェクターには推奨された電源タイプをご使用ください。他のタイプの電源を使用することは大変危険です。

・必ず同梱のアダプターをご使用ください。アダプターを交換しなければならない場合は、弊社にお問い合わせください。

・必ず製品に適合する AC 電源を使用してください。電圧変動は 10%以下にしてください。

ご使用になる地域の電気供給システムの規制は必ず遵守してください。

本製品の安全な電力安定性を維持するため、独立した電源回路をご使用になることを推奨します。冷蔵庫、エアコン、モーターなどの高電力を必要とする電気製品とのタコ足配線はおやめください。

雨の中あるいは高湿度状態になる場所で本プロジェクターを使用しないでください。空気の流通のよいホコリや灰塵のない場所に設置してください。
振動を受けやすい場所、移動されやすい場所、熱源、赤外線は避けてください。

長期間プロジェクターを使用しない場合は、電源コードをソケットから抜いてください。

説明

 ・プロジェクタの側面パネルと後部パネルは、ファン通気口用にスリットが 設けられています。これは製品が正常に作動するために、プロジェクターの 過熱を防止する設計です。

・プロジェクターを使用する前に、換気状態を確認し、通気口に障害物がないようにしてください。また、プロジェクターの近くに可燃物を置かないでください。

・プロジェクタの開口部に物を差し込まないでください。ショートすると感
電事故や製品の損傷の恐れがあります。

・投写レンズをネジで留めないでください。レンズの落下や破損の恐れがあります。

プロジェクターを設置する

 ・プロジェクターは安定感のある固定された場所に設置するか、あるいはマウントに取り付けてください。換気の良い場所に設置し、通気口を覆ったり 塞いだりしないようにしてください。

・プロジェクターとスクリーンの間に適切な距離を取り、投影画像のサイズを調整してください。電源コードをプロジェクターの電源ソケットに接続し、もう一方の端を電源ソケットに接続します。

・必要に応じて、プロジェクターは安定した面に設置したり、本製品対応の
マウントを使用して天井から吊るしたりすることができます。また、外部ディスプレイと接続したり、背面投影(リアプロ)を楽しむことも可能です。



注意:

・画像または台形調整が正常に行われるように、画面の端が本体の高さより
も高くなるように設置します。

 ・プロジェクターのスクリーンのサイズと距離を決めるには、「プロジェク ターとスクリーンの距離」のセクションを参照してください。

・プロジェクターは台形歪みが起こらないように、画面に平行に設置してください。

 ・設置作業中は製品に通電しないでください。感電およびプロジェクターを 損傷する恐れがあります。

 ・プロジェクターを最初に起動する際には、台形歪みや画像にボケが生じる 場合があります。「台形補正とピント調整」のセクションを参照して調整を 行ってください。



2. プロジェクターとスクリーンの距離

警告: プロジェクターが作動している時は直接レンズを覗き込まないでください。目にダメージを受ける恐れがあります。



レンズを時計回りに回し、レンズが本体に一番近い位置にくるようにします。次にゆっくりと反時計回りに回し、最も焦点が合い、 最も明るい画像になるようにします(画像の中心エリアを優先します)。この際、同時に画面のピクセルの大きさについても注意して調整を行ってください。

4. キーストーン

台形補正ギア(図3)をゆっくり動かして、画面の境界線が長方形になるよう に調整します。台形補正の最大調整範囲は±15度になります。台形補正ギア を限界位置に移動しても台形歪みが解消されない場合は、プロジェクターと スクリーンの中心垂直軸を保ったまま距離を縮めてください(図4)。プロジ ェクターを台の上に設置する場合は、プロジェクターの足の部分を回転させ て投影角度を調整してください(図5)。







図 5

5. プロジェクターの天井への取り付けは下の説明図をご参照ください。



・プロジェクターをエアコンやヒーターの熱源の近くに設置しないでください。機器が過熱し、自動的に電源がオフになる場合があります。

 ・プロジェクターの取り付けの際は、ねじの品質、本体へのねじ込み深度に 注意し、適切な強度の吊るし具およびねじを使用してください。



6.信号ケーブルの接続

・電源入力ソケットを使用する場合は、電源アダプタ DC 出力側を本体に差し 込み、もう一方の端を電源ソケットに差し込んでください。



 VGA 入力ポート: コンピューターあるいはその他の VGA ビデオ信号出力 源との接続に使用するポートです。



コンピュータの出力信号を調整するには、下のパラメータ表を参照してくだ さい。

タイプ	解像度		周波数(kHz)	フィールド周波数 (Hz)	VESA
			31.5	60	
			34.7	70	
	VGA	640*480	37.9	72	
			37.5	75	
		800*600	31.4	50	
			35.1	56	
PC			37.9	60	
	SVGA		46.6	70	
			48.1	72	
			75		
			40.3	50	
	XGA	1024*768	48.4	60	
			56.5	70	

注記: プロジェクターとノートブック画面が同時に表示されない場合は、コ ンピュータの表示属性を CRT 出力モードに設定してください。

・ビデオ入力ポート:ビデオ・オーディオ入力ポートを使用して、LD プレーヤー、DVD プレーヤー、ビデオカメラ、ビデオデッキに接続することができます。



・オーディオ出力: プロジェクターのオーディオ出力ポートです。ハイパワーで音楽を再生したい場合は、外部パワーアンプの入力ポートと接続してください。



HDMI HD 信号入力: このポートを使用して HD 対応プレーヤーと接続し、
HD 再生を行います。



このセクションでは、プロジェクターの操作方法を、プロジェクターの起動 から順を追って説明します。製品の操作を行う前に、よくお読みになってく ださい。

 ・投影される画像/距離の大きさを調節してプロジェクターを設置し、出力 源に対応する信号ケーブルをプロジェクターのポートに接続します。

・電池を正しい極方向でリモコンに取り付けます。

・電源アダプターをプロジェクターに取り付けてから、電気ソケットに差し込むと、プロジェクターの電源表示ランプが点灯した後、プロジェクターはスタンバイモードになります。

「◎」ボタンをリモコンあるいは本体で押すと、表示ランプが点灯し、プロジェクターが作動します。

・リモコンあるいは本体で「入力ソース」を「 🖨 」押し、映像入力源を選択 します。

・プロジェクターを最初に起動する際には、画像の焦点がずれていたり、台 形歪みが起こる場合があります。画像のは、プロジェクター前面のレンズで 調整可能です。焦点を合わせ、画像粒子が最も明瞭になるように(中央のエ リア優先)調整を行ってください。台形歪みが生じた場合は、台形調整ギア をゆっくりと前後に回して調整します。画面イメージが長方形になるように 調整してください。台形補正ギアを限界位置に移動しても台形歪みが解消さ れない場合は、プロジェクターとスクリーンの中心垂直軸を保ったまま距離 を縮めてください。。

・画像調整後は映像をお楽しみください。またプロジェクターのパラメーター設定を変更し、画像の明るさ、コントラスト、彩度、音量、シャープネスをお好みに調整することもできます。

・プロジェクターをシャットダウンした後、プロジェクター内部の過熱を防止するために、ファンはまだ作動して冷却処理を行っています。プロジェクターが自動的に停止するまで電源コードを抜かないでください。冷却処理を強制停止させると、プロジェクターの耐用年数に悪影響を及ぼします。

・投影画像の質を向上させるには、適切なプロジェクションスクリーンを選 択してください。またプロジェクターを使用する際は、周囲の環境光をでき るだけ減らすようにしてください。適切な遮光対策をとり、少なくとも光が 直接画面を照らさないようにします。プロジェクターは複数のビデオ信号源 に接続することができますが、実際に使用する際は、プロジェクターの投影 性能に影響を与えかねない相互干渉信号を避けるために、複数のビデオ信号 を同時に送信しないようにしてください。



複合キー: 1.TV モード時のデジタルキー

2. USB および SD カード使用時の機能・方向キー

「方向キー	1. プラスキーとマイナスキーを表示します: 🏼 」または 🍺 」ボタンを
22121	押して、増減を表示します。メニューオプションのプロジェクターメニュ
	ーを上下に移動するときにも使用します。
< ок 🕨	2. メニューパラメータ調整ボタン: メニュー表示時に◀ 」または▶ 」
	を使ってパラメータを調整します。メニューのプロジェクトメニューでモ
	バイルを選択する際にも使用されます。

注意: 1. リモコンとリモコン受信器の間には、信号を遮断するような障害物 を置かないでください。

遠隔操作の信号が遮断されないように、リモコンからの信号が本体のリモコン信号受信器に直接届くようにします。

 リモコンと受信器は6メートル、約30度以内でご使用ください。操 作範囲を超えると、信号が受信されない場合があります。

4. 長期間使用しない場合は、リモコンから電池を取り出し、液漏れを 予防してください。5. 長期間使用した後、リモコンが正しく作動しな くなった場合は、新しい電池と交換してください。

 損傷を避けるため、リモコンは高音多湿の場所に保管しないでくだ さい。

本体カバーのボタンの機能説明



・電源ボタン: 電源をオン・オフにします。リモコンの電源ボタンと同じ機
能です。

・音量 大・小ボタン: 音量を上げたり下げたりする時にしようします。またプロジェクターメニューでモバイルやパラメータ調節の際にも使用します。

メニュー:メインメニューを表示したり閉じたりします。

 ・プラスとマイナス表示キー: この2つのボタンを使用して画面のサイズ増減 します。また、メニューオプションのプロジェクトメニューを上下に移動す るときにも使用します。

・Tv 信号選択: TV 入力と外部ビデオ入力の切り替えをします。

・レンズ:レンズを回転させ、画像ピクセル、フォーカス調整を行い、画像の 明瞭レベルの変更を行います。



吸気吸入・吹出口: プロジェクターを過熱させないための空冷式放熱システムの空気の出入り口です。空気の流れを妨害したりふさいだりしないでくだ さい。

1 電源をオンにする

本体カバーの「◎」ボタン、リモコンでは「◎」ボタンを押します。システムが正常に起動すると、表示ランプが明るい色で点灯します。

2 電源をオフにする

 2. もう一度「◎」ボタンを押すと、電源が切れ、プロジェクター は再びスタンドバイモードになります。もう一度「◎」キーを押しても電源 を切ることはできません。長時間使用しない場合は、電源コードを電源ソケ ットから取り外してください。

メニューの基本操作

3 メニューを開く

 「MENU」ボタンを押すか、プロジェクター本体の「●」を押すと、 メニューが表示されます。



 プロジェクターのリモコンまたはプロジェクターの「◀」「▶」 ボタンを使用して、メニューの項目を調整または指定します。選択 したメニューのアイコンが明るく表示されます。

メニューの項目を調節するには、リモコンまたはプロジェクターの「▲」「▼」ボタンを使用します。



 「▲」「▼」「▲」「▶」キーを押し、選択したメニューのパラメー タ値を調整してください。

2番目から5番目のステップを繰り返して他のメニュー項目を調整します。画 面を閉じるには「メニュー」または「終了」ボタンをクリックします。

入力源の選択

4 映像の入力ソースを選択しま	す
------------------	---

入力信号ケーブルが正しく	
接続されているか確認して	
ください。	



1. 「入力源」を押して投影したい接続を選択します。

 「▲」「▼」を押して PC、AV、HDMI、SD、USB との信号ケーブ ルが正しく接続されているかどうかを確認します。

3. 「▲」「▶」キーで入力元を選択します。

操作マニュアル

1 メニューの表示言語の選択

メニュー言語を選択する「メニュー選択の基本操作」 セクションを参照し、メニュー画面を右に切り替え、 「言語」を選択します。





、1 「(R)」ボタンを押して言語の選択画面を開きます。

2 「▲」「▼」「▲」「▶」ボタンを押し、使用したい言語を選びます。
「メニュー」ボタンを押して選択を確定し、画面を閉じます。

MENU

English	Hrvatski	Nederlands	Chinese
Franais	Deutsch	Slovenina	Slovak
Español	ItAliano	Norsk	
Português	Magyar	Srpski	
esky	Polski	Svenska	
Dansk	Romnete	Suomi	



3. 調整が済んだ後、「メニュー」ボタンを押して設定を保存し、 画面を閉じます。

画像モード: ▶ 標準 ▶ ソフト ▶ カスタム ▶ ダイナミック ┓

ユーザー定義	パラメーター
コントラスト	0-100
明るさ	0-100
色調	0-100
シャープネス	0-100

コントラスト: 画像の鮮明度を増減しま す。輝度:値が高いほど、画像が明るくな り、暗いほど画面が暗くなります。

色調:設定値は、カラー画像の濃度が高くなるほど、画像値が低く、色濃度が 高くなります。

シャープネス: 値が高いほど画像の明度が高くなり、値が小さいほど柔らか い画質になります。

2 色温度

 「▲」「▼」ボタンを押して色温度を選択し、OK ボタン を押して設定画面を表示させます。

2. 「▲」「▼」 ボタンを押して調整したい項目を選び、

「<」「▶」ボタンを押して選択したパラメータの値を調 整します。

ユーザー定義	パラメーター
赤	0-100
青	0-100
緑	0-100



標準モード◆ 暖色 ◆ユーザー ◆寒色

③ ノイズキャンセリング

画像の粗さを減少させます

「▲」「▼」ボタンを押してノイズキャンセリングを選択し、
0Kボタンを押して設定画面を表示させます。

.「▲」「▼」ボタンを押してノイズキャンセリングのレベルを選択し、メニューボタンを押して画面を閉じます。

画像に粗さを感じるときは、「低」、「中」、「高」、「規 定値」から設定を選んで調節します。



画像投影モード

1 画像スケーリング

「メニュー選択の基本操作」セクションを参照し、 メニュー画面を右に切り替え、ズームモードを選 択します。画像ズーム







■ 2.「▲」「▼」ボタンを押してズームモードを選択し、

MENU メニューボタンを押して画面を閉じます。



4:3	4:3アスペクト比の投影画像信号
16:9	16:9アスペクト比の投影画像信号

🛞 🛛 イメージ反転

「メニュー選択の基本操作」セクションを 参照し、メニュー画面を右に切り替えます。



「▲」「▼」ボタンを押して、フリップを選択肢、連続して
「◎」ボタンを押して画像を上・下・左・右回転させます。

サウンド

リモコンの消音ボタンを使用します

1) 消音ボタン
音声を消音したり、出したりします。

2 サウンド

「メニュー選択の基本操作」セクションを参照し、メニ ュー画面を右に切り替え、サウンドモードを選択しま す。



1. 画面右下隅の「 😡 」ボタンを押して、設定画面を表示させます。

2.「▲」「▼」 ボタンを押して調整したい項目を選び、「▲」「▶」 ボタンを 押して選択したパラメータの値を調整します。メニューボタンを押して変更 を保存し、画面を閉じます。

ユーザー定義	パラメーター
高音	0-100
低音	0-100

音響モードカスタム:

ユーザー	▶標準	▶音楽	▶映画		スポー	・ツ
------	-----	-----	-----	--	-----	----

3 音量

Sound Mode Balance Auto-Dofinite difference SOUND Surround Sound Off SPDIE MODE PCM EQ

▶ オフ ▶ 自動 ・

メニュー画面を閉じ、「4」「▶」 ボタンを押して音量を調節してください。



調整可能範囲:0~100

4 バランス

 「▲」「▼」ボタンを押してバランスを選択し、「 ^{●●}」ボ タンを押して設定画面を表示させます。

 [▲] 「▶」ボタンを押してレベルを調節し、メニューボ タンを押して画面を閉じます。



-50 0 +50 「0」に設定することを推奨します。

5 スピーカーバランス

 「▲」「▼」ボタンを押してバランスを選択し、「 ④」ボ タンを押して設定画面を表示させます。

. 「▲」「▶」ボタンを押してレベルを調節し、メニューボタンを押して画面を閉じます。

ユーザー定義	パラメーター
120HZ	0-100
500HZ	0-100
1.5KHZ	0-100
5KHZ	0-100
10KHZ	0-100

EQ 120147 00 20002 00 1.0002 00 6.012 00 1.0002 00 1.0002 00 1.0002 00

6 サラウンド

「▲」「▼」ボタンを押してバランスを選択し、「 ⁽¹⁾」ボ
タンを押して設定画面を表示させます。

2 「▲」「▶」ボタンを押してレベルを調節し、メニューボタンを押して画面を閉じます。

工場出荷時の設定にリセット

・メニューのリセット カスタム設定を解除し、システムを向上出荷時の設定に復元します。

メニューの基本操作セクションを参照し、設定画面を右 側に表示させます。工場出荷時の設定にリセットを選択 し、画面右下端の「 ♀」ボタンを押します。

「<」「▶」ボタンを押して工場出荷時の設定にリセット するかどうかを選択します。

リセットする: 設定値をすべて規定値にリセットします

リセットしない: 設定値を規定値にリセットせずに画面を閉じます。







コンピューターの設定

・まず入力信号モードをコンピューターに切り替えます。

「メニュー選択の基本操作」セクションを参照し、 メニュー画面を右に切り替え、コンピューターの設 定を選択します。

I ▲♥ ボタンを押して調整したい項目を選び、「メ
ニュー」 ボタンを押して調整を行い、メニューを押して
設定を保存し、画面を閉じます。

自動調整: 異なる VGA デバイス (デスクトップ、ノートパソコン、VOD、など 各種ハードウェアプレーヤー)の信号入力のタイプに応じて、最適な投影画 像を生成するために自動的に表示モードを確認あるいは調整を行います。

場所: 画像の水平位置を調整できます。

場所: 画像の垂直位置を調整できます。

ズーム調節:投影サイズのズームイン・ズームアウトを行います。

位相調整: 位相自動検出とクロック信号源に対応 する適切な値を調整します。異なる VGA デバイス を利用し、画面が正常に投射されない場合、正し い表示状態に調整します。

ユーザー定義	パラメーター
ライン位置	0-100
ズームボタン	0-100
無調整位置	0-100
位相位置	0-100

マルチメディアモード

・U disk や SD カード接続の確認

・「入力信号ソースの選択」セクションを参照し、USB または SD カードの入 カモード切り替えを行い、再生したいファイルをディレクトリ内で選択して ください。





1 ビデオ再生

「▲」「▶」 ボタンを押して画面のメニュー右側の
映画ライブラリを選択します。

「●」を連続して押し、ファイル一覧を表示させます。

再生したいファイルを選択します。

ファイルの再生

4.「▲▼▲▶」を使用してファイルを選び、を押し、
「▶」を押してビデオを再生します。

再生操作

「^(Q)」を押すと右側に再生機能を表示させます。

2. 「▲▶」を押して機能を選択します。

3. 「 **○** 」を押して機能を操作します。「終了」 を押すと、リモコン操作に切り替わります。









オン/オフ:ビデオの再生・停止

FB/FF: 2倍、4倍、8倍、16倍のスピードでビデオを再生します。

前:前のトラックを再生します。

次: 次のトラックを再生します。 停止: ビデオ再生を停止します。

製品の技術的寸法

プロジェクター技術	LCD TFT 投影システム
色表示	16.7M
ランプの色温度	9000K
ランプの耐用年数	20,000 時間
アダプター電圧	AC 入力:-100V-240V 50/60Nz
プロジェクター消費電力	50W
レンズ	マルチチップ複合コーティング光学レンズ
AV 入力	AV
信号形式	世界水準
補正	光学 ± 15度
最大連続使用時間	24 時間以下
投影サイズ	38 ~ 100 インチ
プロジェクター 重量	0.86Kg
ノイズおよび光漏れ	低ノイズ、低光漏れ
寸法	198 x 153 x 68.5mm
オーディオ周波数	2W + 2W
	ビデオ入力 : (1.0Vp-p +/-5%)
信号ポート	VGA 入力 : (800 X 600@60Hz 1024 X 768@60Hz)
	HDMI 入力: (480i 480p 576i 720p 1080i1080p)
	ビデオ形式:MPEO1、MPEO2、MPEG4、RM、AVIRMVB、MOV、MKV、
	DIVX、VOB MJPEG(640*480のみ非対応)
	音楽フォーマット:WMA、Mp3、M4A (AAC)
	静止画フォーマット:JPEG、BMP、PNG

*実際の製品を標準型とみなして本マニュアルをご参照ください。



弊店の公式ページで「品質保証」をクリックし、ご注文の基本情報を記入して 頂ければ、今すぐ保証期間を1年延長することができます! TENKERはお客様へより良い使用体験を提供するために努め続け ています!

お問い合わせ:service@vipsupport.jp



www.vipsupport.jp/warranty





